

議員全員協議会

日 時	令和4年3月4日（金） 開会中	10時23分 開会 11時14分 閉会
場 所	相良庁舎4階 大会議室	
出席議員	議長 16番 植田博巳 副議長 15番 村田博英	
	1番 石山和生	2番 谷口恵世 3番 絹村智昭
	4番 名波和昌	5番 加藤 彰 6番 木村正利
	7番 松下定弘	8番 種茂和男 9番 濱崎一輝
	10番 原口康之	12番 太田佳晴 13番 中野康子
	14番 大石和央	
欠席議員	11番 大井俊彦	
事務局	局長 原口 亨 次長 本杉裕之 書記 大塚康裕 書記 本杉周平	
説明員	市長、教育長、建設理事、総務部長、企画政策部長、政策監、健康推進部長、産業経済部長、総務課長、商工観光課長	
傍 聴		

署名 _____ 議長

開会の宣告

○議長（植田博巳君）

ただいまから、議員全員協議会を開会いたします。

定例会の後に、大変お疲れのところ、よろしく願いいたします。

2 市長報告

○議長（植田博巳君）

早速でありますけれども、2番の市長報告に入らせていただきたいと思います。

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

ただいまから、臨時の全員協議会ということでございますが、私のほうから6件ほど報告をさせていただきますというふうに思います。

この6件の報告の前に、一つお知らせをさせていただきますと思います。

実は、今朝ほどですが、建設部都市住宅課の八木沙織さん28歳ですが、急にお亡くなりになったということで、今朝ほど連絡が総務部のほうに入っていました。

状況といたしますと、昨日勤務されていますが、発熱はなかったということと、それから勤務途中で、少し気分が悪いというようなことで休んでいたんですが、回復しないというようなこともあって、自宅まで送ったと、職員がですね。そして、昨晩は床に着きまして、今朝ほど家族が発見したところ、倒れていたというようなことで、救急搬送されたわけですが、心肺停止から復活せず、お亡くなりになったということでございます。

まだ、どういう状況でということとは分かっておりませんが、体調不良ということもあるので、そういったことからすると、病死ではないかなというふうに推測はいたしますけれども、まだ確定はしていないということでもあります。

そして、ワクチンの接種とか、いろいろ気になるところでありますが、3回目のワクチンの接種は受けていないということでもあります。それから、コロナの疑いもないということでもありますので、何らかの病死ではないかなというふうには思っておりますが、本当に若い職員が立て続けに2人亡くなるというようなことで、非常に残念ですし、寂しい限りであります。

特に職員の健康管理については、これからもしっかりと行っていく必要があるということでもあります。

議員各位におかれましても、健診等しっかりしていただいて、健康管理にはしっかりと気をつけていただく中で、公務に当たっていただきたいというふうに思います。

まず、一点目は以上でございます。

それでは、6件の中から、まず1点目の、令和4年度の行政組織についてということでございます。資料1をご覧くださいと、見ながら、報告をさせていただきますので、お願いいたします。

まず、ここ一、二年の国の動向を見ますと、新型コロナウイルス感染症に関わる対策など、非常にスピード感が求められる案件が非常に多くございます。各種の補助制度などについても、積極的に情報を得て、速やかに検討していかないと、対応が難しい、あるいは間に合わないという状況になっているところでございます。

こうした状況や、事業の進捗状況等を踏まえまして、今回、組織の改編を4点予定しているところでございます。

まず一点目でございますが、私からの特命事項を推進して、各部の調整を行うために、政策監の下に、部付の職員を配置いたしまして、そこから各部に指示を出して、組織に横串を刺す形で、スピード感を持って事業を推進する体制といたします。

2点目といたしましては、福祉こども部の保育園民営化推進室でございますが、令和3年度に社会福祉課事業団を設立いたしまして、本年4月から、勝間田、萩間、菅山の3園を事業団運営に移行いたします。

準備作業が完了いたしますことから、本年度でこの準備室を廃止することといたしまして、この関連業務につきましては、子ども子育て課で、今後のさらなる民営化につきましては、子ども子育て課で行うということにいたします。

3点目でございますが、建設部の新拠点整備室でございますが、これまで計画調整係と事業推進係の2係の体制を取ってきたわけでございますが、令和3年度において土地区画整理事業の事業計画がまとまりましたので、策定ができたということでございます。

そういった中で、令和4年度からは、係を一本化いたしまして、事業の早期の土地区画整理組合事業の認可の取得でございますとか、組合の設立を目指し、また、事業着手へと進めていくということでございますので、事業推進係の1係に変更いたします。

4点目は、これまで教育文化部の教育総務課で学校再編計画の策定を進めてまいりましたが、令和4年度からは学校施設整備基本構想の策定など、具体的な検討を進めてまいりますので、学校再編推進室を新設いたしまして、体制を整え、事業の推進を図っていきたいと考えております。

学校の跡地の利用につきましては、政策監を中心に、庁内プロジェクトを立ち上げまして、跡地利用計画を策定してまいります。

また、危機管理監でございますが、防衛省から退職自衛官を新たに迎えまして、防災体制の充実を図っていくこととしております。

まず、1点目については、以上でございます。

2点目といたしまして、まん延防止等重点措置の静岡県の延長要請についてであります。

本県においても適用されている3月6日までのまん延防止等重点措置の適用期限を延長する要請を、昨日静岡県も行いました。政府は、本日決定する見込みであります。

県としては、経済団体などの要望も踏まえ、昨日ぎりぎりまで、延長要請をするか、しないかということについて検討してきましたけれども、結果といたしまして、静岡県として、期限延長の要請を国へ行いました。

延長の理由といたしましては、人流の抑制と、病床使用率が50%を超えている点が大きな理由ということでございます。

1月末には、まん延防止の適用を受けて人流が6割落ちたということで、飲食店が感染拡大の要因ではないけれども、人流の抑制のため、また両隣接県と首都圏が延長を要請したことによりまして、本県が解除することによって、人が本県に流れ、感染拡大することを防ぐためとの県知事会見の内容でございました。

本市におきましては、市民の皆様の感染防止対策の努力によりまして、新規陽性者数はピークアウトしておりますが、減少傾向にはあるものの、依然として高止まり傾向にございまして、収束には至っていないという状況でございます。

県が延長を要請する状況ではございますが、これまでの感染防止対策の経験も踏まえ、現在、感染防止対策として実施しております公共施設、体育施設の利用人数などの制限はそのまま維持するものの、利用時間の短縮の解除、部活動、スポーツ少年団の活動自粛について緩和をいたしまして、ウィズコロナに対応した社会活動や学校生活を取り戻したい、進めていきたいということで、見直しを予定しているところでございます。

市民の皆様には、延長期間の決定に合わせまして、市の運用をホームページ、LINE等でお知らせをしておりますので、よろしく願いをいたします。

次に、コロナワクチンの追加接種の状況についてであります。

資料2をご覧いただきたいというふうに思います。

ワクチンの接種状況でございますが、一般高齢者の接種につきましては、3月2日現在で、80.2%の方が接種を完了している。2月末の未接種完了（国の方針）はおおむね達成しております。

3月上旬までは、若干の一般高齢者と64歳以下の基礎疾患がある人が、この接種者の中に入っておりますので、一般高齢者の接種率といたしましては、90%を超えているというふうに予測しているところでございます。

そうした中で、牧之原市における全年代ですね、この表の一番下にございますが、人口4万4,775人に対します3回目の接種者、接種完了者数は1万3,916人ということで、31.08%の接種率でございます。市民の約3割強が3回目の接種を終えているという状況でございますので、これは全国的、あるいは県内を見ても、この接種率というのはトップクラスであるというふうに認識しております。

そして、2点目の予約状況でございますが、これは3月2日現在でございますが、これまで接種券を発送した人数は1万6,515人でございまして、そのうちの1万2,482人が予約を終えております。予約率につきましては、75.58%でございます。こちらについても、非常に関心が高いと

いうふうに思っております。そして、予約枠に対する予約状況でございますが、ファイザー、モデルナというようなことで、いろいろモデルナが敬遠傾向にあるということでもありますけれども、ワクチンの配給といいますか、配布は4分6の割合で来ていますので、そういった中でいいますと、この表を見ていただきますと、ファイザーについては、ほぼ100%の予約率、モデルナにつきましても、全国的には3割とか4割とか、よく言われておりますが、本市においては79.77%、8割の方がモデルナも予約をいただいているということでございます。

そうしたことから、これまで空けている接種枠に対する予約率は87.15%ということで、非常に高い数値が出ているということでございます。

そして、小児接種の申込みの状況でございますが、今回は3月20日と4月10日のセットで接種を予定しているわけでございますが、今回、ワクチンが国から支給される枠が500枠ということでございます。非常に少ないわけでございますので、当初は、接種券を配布して、それに基づいて予約いただくということも考えておりましたが、国も接種義務を外したというようなこともございますので、まきはぐ等で、この接種の申込みを受けてというようなことで、申込制にいたしました。そうしたところ、316人の現在までに予約が完了していると。申込率としては63.2%という状況でございます。

そして、次に、さがら子生れ温泉の源泉ポンプの故障による取替えということでございます。さがら子生れ温泉会館につきましては、源泉内の地下600メートルに設置して、温泉を汲み上げる源泉ポンプがございまして、2月25日の金曜日に故障いたしまして、営業を一時停止している状況にあります。

早急に営業再開をするために、昨日3月3日、木曜日から、予備に確保してございます予備ポンプへの交換作業に着手いたしまして、順調に作業が進めば、3月10日、水曜日に営業が再開できるということで報告が来ておりますので、お知らせをさせていただきます。

なお、この緊急の工事に伴います予算につきましては、予備費の充用によりまして対応させていただいておりますので、この緊急対応につきまして、ご理解をいただきますよう、お願いいたします。

それから、まず連携協定、一部新聞報道等もございましたけれども、報告をさせていただきます。

今週、2月28日、月曜日に行いました連携協定2件について、報告をいたします。

まず、市役所窓口業務の委託業者でありますグローバルデザイン株式会社と、デジタル技術を活用した行政窓口のデジタルトランスフォーメーション推進協力に関する協定を締結いたしました。

詳細につきましては、資料を見ていただければと思います。

同社におきましては、デジタルコンテンツの作成や、システム構築といったICT分野に強みがある会社でございますので、窓口業務のデジタル化やシティプロモーションなど、様々な分野において、アドバイスや協力が得られるものと考えております。

今後の具体的な活動予定といたしましては、市ホームページの改善、職員向けの情報発信研修、タブレットを用いた総合案内サービスの試験導入等を検討しております。

もう一件は、浜松市に立地をしておりますトキワホールディングス株式会社と、地方創生に係る相互協力及び連携に関する協定を締結いたしました。

こちら資料がクリックすると見られますので、また後ほどご覧いただきたいと思っております。

当社は、積極的な女性雇用、子育てと両立しやすい働き方の環境づくりなどに取り組んでおりますので、当市が目指す、日本一女性に優しいまちづくりの実現に向けまして、試験的、先導的な施策に連携していくことで、合意をいたしました。

今後は、女性の活躍等に取り組む市内企業とも連携をしていくよう、ネットワークの構築や、取組の横展開を通じまして、実効性を高めていきたいというふうに考えているところでございます。

次に、第3回ジャパンオープンサーフィンについてということ。こちら資料がございますので、資料のほうもまたご覧いただければと思っておりますが、こちらは、第3回ジャパンオープンサーフィンの大会が、3月30日、水曜日、静波サーフスタジアムで開催されることが決定いたしましたので、報告をいたします。

こちらネットのほうに貼りつけてありますので、ぜひこちらでもご覧いただければと思っておりますが、この大会は、一般社団法人日本サーフィン連盟、NSAと、一般社団法人日本プロサーフィン連盟、JPISAによりまして、実行委員会を組織して開催されるものでございまして、2019年5月に初開催されまして、今回が3回目となる大会でございます。

ISA、ワールドサーフィンゲームズという、出場権が男女各1名枠を争う、日本を代表する選手ですね、選考大会に位置づけられておりまして、日本代表チーム、波乗りジャパンの一員となりまして、大いなる名誉も手にする日本一のサーフィンの大会と、祭典ということでもあります。プロ、アマ、合わせた日本一のサーファーを選出する大会でございます。

今後、出場選手が選考され、男女18名の国内トップ選手が出場する予定になっているということですから、日本を代表する選手が、トップクラス18名、これもすごいことでもありますので、非常に期待をしているところでございます。

第1回、2回大会は東京五輪会場の千葉県の一宮の釣ヶ崎海岸周辺で開催されておりましたが、今回は、静波サーフスタジアムを会場に開催することから、来週8日、火曜日に静波リゾートホテル・スイングビーチに、先日オープンいたしましたワーケーションルーム「ザ・サーフ シャック」において、開催地決定を発表する記者会見を行うこととなっております。

発表内容の詳細につきましては、別添資料、先ほど申しました情報提供いたします。

なお、会見前でございますので、この資料の取扱いについては、公表につきましては、この会見後、8日以降にさせていただければということで、お願いをいたします。

それからもう1点、サーフィン関係でございますが、2月25日から3月18日にかけて、スポーツ庁より、ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設の指定の公募が開始されて

おります。静波サーフスタジアムの応募を、ナショナルトレーニングセンターに応募するという
ことで、準備をしております。

静波サーフスタジアムでは、東京五輪の前の、日本とアメリカチームの事前合宿や、次期オリ
ンピックでメダル獲得を目指すためのジュニアの強化合宿などを行って、選手やNSA、JP
SAから高い評価をいただきましたので、引き続き競技選手の強化、育成に貢献したいとの思いか
ら、応募するものでございます。

選定されますと、当地が日本サーフィン競技の拠点となり、将来当施設から多くのメダリスト
が排出できるものと考えております。また、全国からサーファーが集まることで、サーフィンを
楽しむライフスタイル、ファッションやショップなど、若者をひきつけるエリアの形成につな
がりまして、静波エリアの沿岸部活性化に大いに寄与するものと考えております。

私からは以上でございます。よろしく願いいたします。

○議長（植田博巳君）

今の件、その他でも結構ですけれども、何かご質問等ありましたら、お願いいたします。

濱崎議員。

○9番（濱崎一輝君）

私のほうから、2点、確認をさせていただきます。

別添資料の組織改編のほうですけれども、教育文化部のところすけれども、新しくできると
ころが、学校再編推進室と、学校再編推進係といったことで、非常に名前が似ていて、分かりづ
らいんですね。何でこういう名前にしたのかということと、役割ですね、どんなことかというの
を、具体的に教えていただきたいというのが、まず1点。

それから、もう一つ、資料2のほうですけれども、ワクチン接種のほうの関係で、子供のワク
チン接種の状況、報告がありましたけれども、今回500枠ということだったんですけれども、実
際に対象となる子供たちというのは何名ぐらいいるのか、教えていただければと思います。

○議長（植田博巳君）

総務部長。

○総務部長（大石光良君）

最初に、組織の関係でご説明をさせていただきます。学校再編推進室については、今、教育総
務課のほうで、学校再編の関係の事務も併せて総務係のほうでやっているわけなんですけれども、
今後、各施設の建設に当たっての構想とか、そういうような具体的なものに入ってくるもので
すから、そういうような内容、かなり広範囲でいろいろなことについて詰めていく必要があるとい
うことで、それで学校再編推進室のほうで、その事務については行うということで、今現在考え
ております。

名前については、そこの室に、内容的には学校再編をするという係ですから、同じような名前
ということにさせていただいております。

以上です。

○議長（植田博巳君）

健康推進部長。

○健康推進部長（鈴木郁美君）

子供のワクチン接種の対象人数ですが、すみません、細かい数字まではあれなんですけど、おおむね2,400人ほどいるということでございます。

○議長（植田博巳君）

濱崎議員。

○9番（濱崎一輝君）

先にワクチン接種のほうですけれども、今回500枠ということなんですけれども、次はいつ頃入ってくるかという予定とかというのが分かれば教えていただきたいということと、実際にあれですか、どれぐらいの数が今後入ってくるのかなと危惧するところなんですけれども、まずそれ1点ですね。

あともう一つですけれども、先ほどの名前ですね。学校再編室と係のところ、同じようなことということであれなんですけれども、非常にこれ、外部から見ても非常に分かりづらいし、私が見ても、いまいよく分からないなという、今の説明でも分からなかったんですけれども、非常にややこしい名前だな、似ているものですからね。その辺のところ、ちょっともっと分かりやすくしたほうがいいのかと思ったものですから聞いたんですけれども、その辺のところ、今後、このままでいくのかということも含めて、ちょっと教えていただければと思います。

○議長（植田博巳君）

健康推進部長。

○健康推進部長（鈴木郁美君）

小児ワクチンですけれども、来週の週に一応1,000人分で、これは2回接種の必要がありますので、そのことから、今回500人分の予約枠を用意して申込みを取ったという状況になります。それ以降のワクチンが、いつ頃、どれぐらいの量が入ってくるかということは、今後、国のほうからまた示されるということで、その量に合わせて、またワクチン接種の日程を調整していきたいと考えております。

○議長（植田博巳君）

総務部長。

○総務部長（大石光良君）

室名と係名が同じということなんですけれども、この係については、一室一係ということですので、学校再編のことというふうにいえば、この課に伝わるということになりますので、その辺については問題ないというふうに考えております。

以上です。

○議長（植田博巳君）

濱崎議員。

○9番（濱崎一輝君）

係の名前はもういいです。分かりました。

ワクチンの関係ですけれども、一番危惧しているのは、打ちたいという子供がいたときに、数が入ってこないとなってしまうと困るものですから、そこだけは確保しておいてもらいたいなという思いがあったものですから、質問させていただきました。

○議長（植田博巳君）

健康推進部長。

○健康推進部長（鈴木郁美君）

今までも、一般の高齢者、それから64歳以下の方のワクチン接種もそうでしたが、きちんと希望される方のワクチンが入るようにということで、県を通じて国のほうにきちんと要望していきますので、そちらのほうは不足がないようにやっていきたいと思います。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

令和4年度の組織機構の改編の中で、今も質問がありましたけど、学校再編の関係、既にこれで学校再編が進んでいくということだと思し、やはり具体的に準備していくには、こういった組織の中でしっかりやっていかないとということなんですけど、ただ、まだ議会に対して3月に教育委員会のほうで議決がされるということは聞いていたんですけど、その報告もない。この間、市民に意見を聞いた、その報告も全くない。それで、議会としても今、議会としてこの問題に最終的にどういう方向で考えていくかということ、まだやっていないんですよ。

その中で、もうこれは我々も認めるということは、議会も何も今やっていることが進められないしということなんですけど、その辺ってどう考えればいいんですか。分からないんです。

○議長（植田博巳君）

教育長。

○教育長（橋本 勝君）

教育委員会の定例会が、市のほうが25日にあります。その前に、全員協議会のところで、議会の皆さんに、パブリックコメント等、数多くいただいておりますので、ただ、そのままお答えを示したところで、長文ですし、いろいろなことが混ざっているものから、今、多くのパブリックコメントをいただいた意見を、分類というか整理をしまして、同意見が非常に多かったです。今つくっている最終案にどう反映されるかということ、今やっております。

その報告を18日のところでお示し、報告させていただきたいと思います。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

当局側の考えは今聞きましたけれども、それに対して、我々議会として、議長としてどう考え

ているか、そこを少し議長のほうから。

○議長（植田博巳君）

私としては、今パブコメを取っているということですので、今の話だと3月18日に議会のほうに示してくれるということでもあります。その後、その日か、その直近になるか、日程はちょっと、今ははっきり言えませんが、そうしたら、直後に議会としての学校再編についての考え方、今後の進め方について、市のほうに申入れをするような内容の協議をしたいと考えております。

○12番（太田佳晴君）

はい、わかりました。

○議長（植田博巳君）

ほかに。

木村議員。

○6番（木村正利君）

1点、さがら子生れ温泉の件について、お聞きしたいと思います。

予備ポンプが壊れたという中で、修理に進んでいる中で、今、民間の指定管理者と契約されていると思うんですけど、いろんな意味で、今後、アパートなんかを借りても、その運営上の修理という契約状況とかというものもある中で、牧之原市においても、公共施設のマネジメント計画の中で民営化していくという、いろいろな意味のことはやられていると思うんですけども、今後、時間経過と伴って、いろいろなことの修繕、この庁舎におきましても、トイレの故障とか、いろいろなものが起こっている中で、この民間との契約状況の中で、修理の部分まである程度踏まえた形の中のところは、やっておられるのかなと。

当然、古くなってくれば、いろいろな修理が出てくる中で、当然、指定管理される業者さんも、ある程度民間の中で利益を確保しながらという中で、当然、修理も含めた計画の契約なのかというところを、そこら辺についての詳細をお聞かせ願いたいです。

○議長（植田博巳君）

商工観光課長。

○商工観光課長（副代英正君）

まず、指定管理につきましては、管理運営に関する基本協定というのを、まず結ばせていただいています。この中に、修繕費用の負担という形の中で、一か所一件の修繕費が基本的には200万円を超える場合は市が負担をするということになっております。それと併せまして、運営費の約6%、これにつきましては、売上げの6%、これを積立てということで、市のほうに基金として積み立てるということで、今現在積立てをしながら、この200万円を超える場合につきましては、それを市のほうに一度繰入れをして、それを支出として執行していくというような形で、応分の負担を、当然、基本的にはこの基金の中で修繕をするということで、対応させていただいているというところでございます。

以上です。

○議長（植田博巳君）

木村議員。

○6番（木村正利君）

そういう形の中で、きちんと契約がなされていればいいと思いますが、今後、またいろいろな指定管理をしていく中で、経年劣化というところのリスクが高まると思いますので、そこら辺を踏まえた中の契約状況というか、そういったものを検討していただければなど。

今、理解できましたので、分かりました。

○議長（植田博巳君）

商工観光課長。

○商工観光課長（副代英正君）

大分この施設、老朽化も一部分しておりますので、その辺も、再度確認をさせていただいて、必要なものを、今回のように緊急措置も必要になりますので、予備として必要なものは購入するという形の中で、計画的に修繕していきたいと思っております。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ほかにごいませんか。

中野議員。

○13番（中野康子君）

すみません、2点聞かせていただきます。

行政の組織につきまして、政策監の下に、部付職員を配置ということですがけれども、今まで一人で頑張っていたんですけれども、これは何名を予定していらっしゃるのか、教えてください。

それからまん延防止の中でですけれども、スポーツ少年団なんかは、活動の自粛を緩和するというところでございますけれども、スポーツ少年団のほうで、かなりいろんな方たちが、ご父兄のほうから、活動の自粛に対しまして、いろいろな意見をいただいています。グラウンドゴルフなんかは、もっと密につながっているのに毎回やっている、それに比べて、活動を全くさせていただけないという、これは一体どういうことなんだろうとかという質問を、何回かいただいています。

時間を短縮するなりとかという形にするのか、その辺をちょっと詳しく教えていただければ、ありがたいです。

○議長（植田博巳君）

総務部長。

○総務部長（大石光良君）

政策監につける部付の職員ですけれども、まだ最終決定ができていませんが、今の想定としては、専任の職員が1名と、部内の兼務をする係の職員を1名ということで、2名を配置したいと

いうふうに考えております。

以上です。

○議長（植田博巳君）

教育長。

○教育長（橋本 勝君）

スポーツ少年団の関係ですけれども、やはりそういった声は教育委員会のほうに届いております。現状ですと、やはり子供たちの感染を、家庭内とかでありまして、学級閉鎖も続いている状況でありますので、一気にここで全てオッケーということには、なかなかいかないものですから、これから大会等を控えている中で、何も練習しないで大会に臨むということもいけませんので、感染対策を万全にしながら、そこら辺は緩やかにというか、状況に応じて、できるような活動に示していきますので、よろしくお願いいたします。

○議長（植田博巳君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

週何回か練習をしている、そういったのも、今は全くできていないんだけど、その辺を週何回かにするとか、時間をちょっと短縮するとかというような指導をしていくということですかね。

○議長（植田博巳君）

教育長。

○教育長（橋本 勝君）

すみません。今手持ち資料が。申し訳ありません。スポーツ推進課も来てないですね。緩やかにするのは間違いなく確認をしていますし、具体的には、そこをまた示しますので。

○議長（植田博巳君）

名波議員。

○4番（名波和昌君）

2点あります。1点は、先ほどの学校再編のところなんですが、学校再編推進室と、あと政策監のところプロジェクトをつくれるということで、やる内容は別々だとは思いますが、やっぱり連携する必要というのは、かなりあると思いますので、その連携の方策はどういうふうなことを考えていらっしゃるのか、これが1点と、もう1点はワクチンのところで、3月6日以降のところを調整中ということですが、その接種スケジュールは、いつ頃にはっきりされるのか、その2点について、教えてください。

○議長（植田博巳君）

総務部長。

○総務部長（大石光良君）

連携の方策ということですので、仕事の内容について、かなり密接に、年間を通じて関わ

ってやらなければいけないというものについては、組織立てをしてつくっていくんですけども、そうでないものについては、プロジェクトチームなり、各課が集まって協議をするなりというような形を取って対応していくという形に考えております。

以上です。

○議長（植田博巳君）

健康推進部長。

○健康推進部長（鈴木郁美君）

申し訳ありません。もう一度、3月6日以降、調整中というところを。

○4番（名波和昌君）

資料2のところに、接種対象者が3月6日から18日までは、集団・個別ともに接種を調整するという文言があるんですが、このところって、どういうふうに調整されるのかなということで。

○議長（植田博巳君）

健康推進部長。

○健康推進部長（鈴木郁美君）

今、集団接種・個別接種、これまでは一般高齢者の方を中心に行っておりましたが、今、おおむね高齢者の方も打ち終わりました、今64歳以下の方を進め始めているところなのですが、2回目を打ち終わった時期に、ちょうど半年前のところが基礎疾患の方が受けられていたということで、対象になられる方が、今少ない状況になっております。

ですので、今までのように、平日週三日、土日、午前午後とやるというようなところまで、今対象者がいけませんので、日程ですとか、実施する時間とか、そういったものを受けられる方の人数に合わせて、今調整をしているということで、3月の中旬から、また64歳以下の方が大勢受けられるようになりますので、そうしましたら、また日程を増やしていくというような形の調整をしているということになります。

○議長（植田博巳君）

名波議員。

○4番（名波和昌君）

学校再編と跡地の利用については、ぜひ、両輪だと思いますので、細かい連携も含めて進めていただければと思います。

ワクチン接種については、分かりました。ぜひ少ないとは言いながらも、早期の接種を希望されている方って、中には結構いらっしゃると思いますので、その辺のところも踏まえた形で、できるだけ早いスケジュールをつくっていただきたいと思います。

以上です。

○議長（植田博巳君）

健康推進部長。

○健康推進部長（鈴木郁美君）

私たちも、できるだけ早い時期に、多くの方に受けていただきたいと思いますので、6か月になれば、皆さん接種ができるようになりますので、そういった隙間がないような日程を組んでいきたいと思っております。

○議長（植田博巳君）

ほかにごいませんか。

教育長。

○教育長（橋本 勝君）

中野議員のご質問に対して、具体的な今、取組のことが分かりましたので、お知らせいたします。

スポーツ少年団の関係ですけれども、競技別のガイドライン等を遵守し、感染対策を徹底した上で、平日及び土日祝日の活動を認める。ただし、土日祝日の活動については半日のみとするなど、短時間の活動に配慮することということで、本日付でスポーツ協会のほうに、この文書を出して、各団体のところに指示を出したいと思えます。

以上です。

○議長（植田博巳君）

それは、いつからですか。今日からでいいということ。

○教育長（橋本 勝君）

今日、発出する。3月7日からです。

6日までのところは、今のまん防のところの状況で、今の状況ですけれども。

○議長（植田博巳君）

7日からでいいと。そういった文書が今日出ると。

○教育長（橋本 勝君）

そうです。今日出します。

○議長（植田博巳君）

ほかには、よろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（植田博巳君）

以上といたします。

3 その他

○議長（植田博巳君）

3番のその他ですけど、事務局、何かありますか。いいですか。

あとは、議員の中ということですので、よろしくをお願いします。

その他で。

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

実は今朝、この牧之原市の学校再編を考える会（仮）という、これが状差しに入っていたんです。恐らく皆さんのところ、全員入っていると思うんですけど、これ意味分らないです。どういう経過で、当然議長の指示があって入れたと思うんですけども、それを少し説明願いたいということと、今も学校再編の関係で、組織の話が出てましたけれども、今、議長の答弁で、今後、議会としての対応を考えるという中で、こういったものが一方的に入れられても、皆さんどういうふうにこれを扱っていいのか分からないし、それをまず。

○議長（植田博巳君）

今日入れさせていただいたのは、2月16日付で学校再編を考える会という中の、中川松枝さんという方から、議会のほうに個人名で各議員のところに入れていただきたいという申込みがあって、他の刊行物と同じような扱いで入れさせていただきました。

太田委員。

○13番（太田佳晴君）

当然、ほかのものとは一緒のものだと思うし、まず議長からこのことを説明してから入れないと、各議員、分からないと思います。

それともう1点。2月17日に新聞に載りましたけれども、16日にこれが教育委員会に提出された。同じものなんですね、これが。

○議長（植田博巳君）

そうやって書いてあります。

○13番（太田佳晴君）

その場に、議運の委員長の太石議員が同行されたということなんですけれども、今、議会として全体でどうまとめるかというときに、一議員がこういう学校再編を考える会という、組織の中で、こういったものを教育長に提出するということが、議長として許されるのかどうか、そこを。

太石議員の説明も、一つお願いしたいと思います。

○議長（植田博巳君）

太石議員。

○14番（大石和央君）

2月16日でしたっけ。これは立ち会っただけの話であります。要するに、市民からの教育委員会に対しての要望ということでありましたので、そういった意味での立会いということでありませぬ。

同会との関係性というのではないわけでありまして、ただ、どういう会議がされているのかということは、市のこれまでやられてきた説明会も含めて、いろいろなところの会議に参加してきましたので、その一環で参加をしていたというのもありますけれども、そういうことで、市民の意見を聞くという、議員の立場から関心を持って、個人の活動としてやってきたわけでありませぬ。

もう一度繰り返します。立ち会っただけでありますので、意見を述べたわけではありませぬ。

以上です。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

会議を傍聴して立ち会うなら、それはそれで許可を取ればいい話なんですけれども、少なくとも、教育長に対して、市に対してこれを提出する場に立ち会ったということは、その趣旨に賛同しているというふうに、当然取られると思うし、そういうことだと思えます。ですから、個々の議員として、やはり特に議運の委員長でもあるし、誤解を招くような軽率な行動は控えていただきたいと、そんなふうに思いましたので、意見させてもらいました。

○議長（植田博巳君）

大石議員。

○14番（大石和央君）

個人活動については、今後、慎重にということは分かりましたので了解いたしますが、しかし、私としては、やはり市民から出されているこうした内容というものについて、真摯に受け止めなければならないということだと。要するに、何をここで表現されているのかというのは、大きく今の再編計画、これをもろ手を挙げて賛成するものではないということで、もっと市民との対話を進めてほしいというところでの要望、意見書であったというふうに理解をしておりますので、非常に重要な市民からの声だというふうに受け止めております。

以上です。

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

それでは、議長に確認ですけれども、これについては各議員とも、これは読んで読み置くというところで、よろしいですか。

○議長（植田博巳君）

そのとおりでございます。こういうものが教育長に出されたという確認ということで、見ていただければいいと思います。

それから、大石議員については、立合人ということで、今、ご発言がございましたけれども、一応議会運営委員会の委員長というような立場もありますので、それについては、個人的に今後は控えていただくように、申入れはしてありますので、よろしく申し上げます。

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

すみません、最後に。

我々議員は、当然市民から市長に対して、また今回は教育長ですけれども、出されたものをどうするかという、チェックするのが仕事だと思えます。だから、それを伴っていくというのは、相当慎重にいかないと、議会としてのチェック機能というものに疑問符がつく場合がありますの

で、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○議長（植田博巳君）

石山議員。

○1番（石山和生君）

僕も市民の方々の意見を聞く場にいました。今聞きたいのは、そういう場に行くことは、別に問題ではないですよという確認なんですけれども。

○議長（植田博巳君）

議会活動と議員活動というのがありまして、議員活動で動いている場合では全然問題ないと思ひます。議会としての組織として動く場合については、その案件が今は協議中だとかいった場合については、そういう立場で、議会という立場で出向くのでなければ、議員活動であればいいというふうに、私は理解してあります。

石山議員。

○1番（石山和生君）

僕としては、反対をしている方々、賛成をしている方々、両方の意見はどういったものなのかを知りたくて、そういったところに参加をしてあります。また整理をさせていただけたらというふうに思ひます。

○議長（植田博巳君）

ほかにはございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（植田博巳君）

ないようですので、以上で議員全員協議会を終了いたします。本会議から議員全員協議会、長い時間、ありがとうございました。お疲れさまでした。

〔午前 11時14分 閉会〕